

高精度時計が海を制し世界を制す

High-precision clocks for controlling the sea and the world

大航海時代、悪条件が重なる洋上で正確な緯度と経度を把握することが、海を制する上でとても重要でした。南北を示す緯度は、北半球ならば北極星の高度角を測定することで比較的容易に得られますが、東西を示す経度の測定は、困難を極めました。

16世紀の当時、位置が既知の出発点と現在地との時差から経度を割り出す理論が知られていました。これは、地球が24時間で360度、つまり1時間に15度回転していることを利用し、太陽の高度が最大になる南中時の時間差をもとに、経度を割り出しました。

しかし、当時の時計は1日10分程度の誤差があり、赤道上で考えた場合、距離にして約280^{キロメートル}に及ぶ誤差になってしまいました。後に18世紀、精度の高いマリンクロノメーターの登場により大幅な改善がなされました。

館内企画展アーカイブ

バーチャル展示室

THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <https://www.tcm.it.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.